



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成29年4月3日

本資料の発表をもって解禁

信濃川河川事務所 平成29年度予算の公表 ～大河津分水路の改修の推進 等～

平成29年度予算は3月27日に成立し、国土交通省関係の予算が公表されました。

信濃川河川事務所では、平成27年度より新規事業として進められている大河津分水路の改修を引き続き推進するとともに、流下能力が不足している岩沢地区の河道掘削等を実施します。

平成29年度当初の河川改修にかかる予算は、58億2千5百万円(工事諸費除く)です。(そのうち、大河津分水路の改修に係る予算は46億7千4百万円です)

主要事業の概要は、以下を参照ください。

○大河津分水路の改修の推進 参考資料

(参考)

<本省HP>

○国土交通省関係予算の概要

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000147.html

<北陸地方整備局HP>

○北陸地方整備局関係予算の概要

http://www.hrr.mlit.go.jp/library/yosan/H29/jigyoku_keikaku/index.html

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ
市政記者クラブ、新市政記者クラブ
長岡市記者会、長岡地域記者会
三条市記者室、十日町記者クラブ、
小出郷新聞、小千谷新聞、
越南タイムス、FMゆきぐに、
建設業界向け専門紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門官 山田 耕治(やまだ こうじ)
電話：0258-32-3020(内線216)

しなのがわ おおこうづぶんすいろ
信濃川 大河津分水路改修の推進
 ながおか つばめ
新潟県長岡市、燕市

H29事業費
 5,825百万円※

※信濃川河川改修事業のH29全体事業費
 (うち大河津分水路改修のH29事業費 4,674百万円)

事業の概要

大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年(1922年)に通水した延長約9kmの人口の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年7月洪水では、分水路直上流で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しています。

大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている流下能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築等を実施することとしています。

整備効果

大河津分水路の改修により信濃川水系の治水安全度を向上させます。

平成29年度の事業内容

用地取得及び河道掘削の推進、新野積橋の橋台着手など事業進捗を図ります。



流下能力が不足し、抜本的な改修が必要な大河津分水路

第二床固付近の状況 (平成23年7月洪水時)



大河津分水路平面図

